

グアテマラ経済(2008年7月)

平成20年8月
在グアテマラ日本国大使館

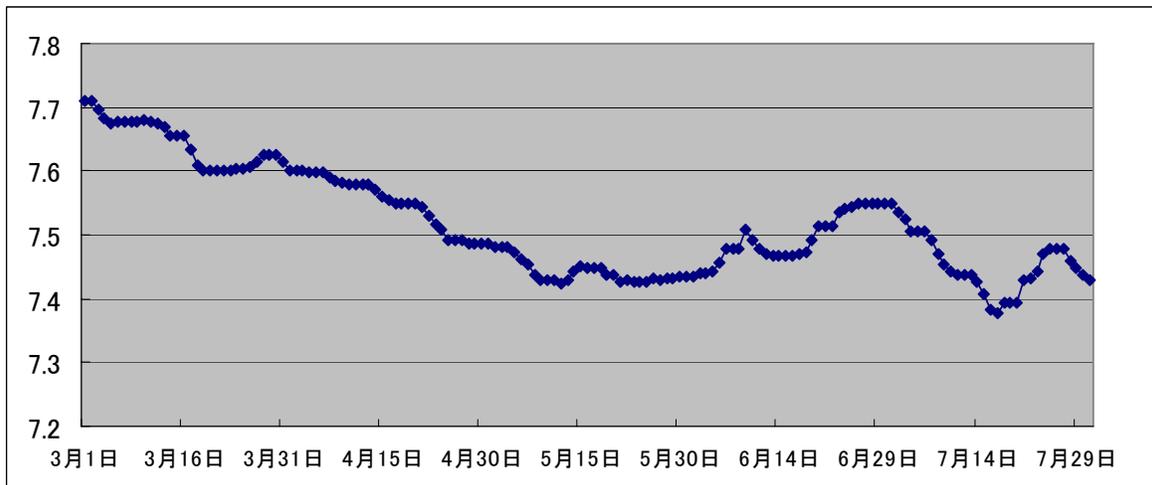
『7月の主な動き』

- 7月の消費者物価指数は、前月比 1.25%上昇、年率では 14.16%、2008年1-7月累積では 8.89%の上昇を記録。年率の上昇値 14.16%は 1994年5月(14.14%)以来の最高値。
- 国家金融審議会(JM)は、国内のインフレ傾向に対応すべく、政策金利を 6.75%から 0.5%引き上げ、7.25%とした。
- 2008年度上半期の輸出総額は 3,996.3 百万米ドル(前年同期比 12.9%増)、輸入総額は 7,482.1 百万米ドル(前年同期比 16.9%増)で、貿易収支は 3,485.8 百万米ドルの赤字(前年比 21.9%増)。
- コロン大統領は、ベネズエラで開催された第5回ペトロカリブ協定加盟国臨時首脳会合に出席し、同協定への署名を行った。
- 中米経済大臣会合(COMIECO)において、グアテマラの食料品 5 品目の無関税輸入枠の拡大と、化学肥料の無関税輸入(エルサルバドルにも適用)が承認された。

1. 主な経済指標

(1) 為替レート(中銀)

<ケツアル対米ドル相場(2008年3-7月)>



7月、ケツアルの対ドル相場は、1ドル=7.38-7.55 ケツアルのレンジで推移。月半ばに向けてケツアル高ドル安の傾向が急激にすすみ、17日には1ドル=7.37台を記録した。その後ややケツアル安ドル高に転じたものの、3月半ば以降のケツアル高ドル安傾向は維持される。

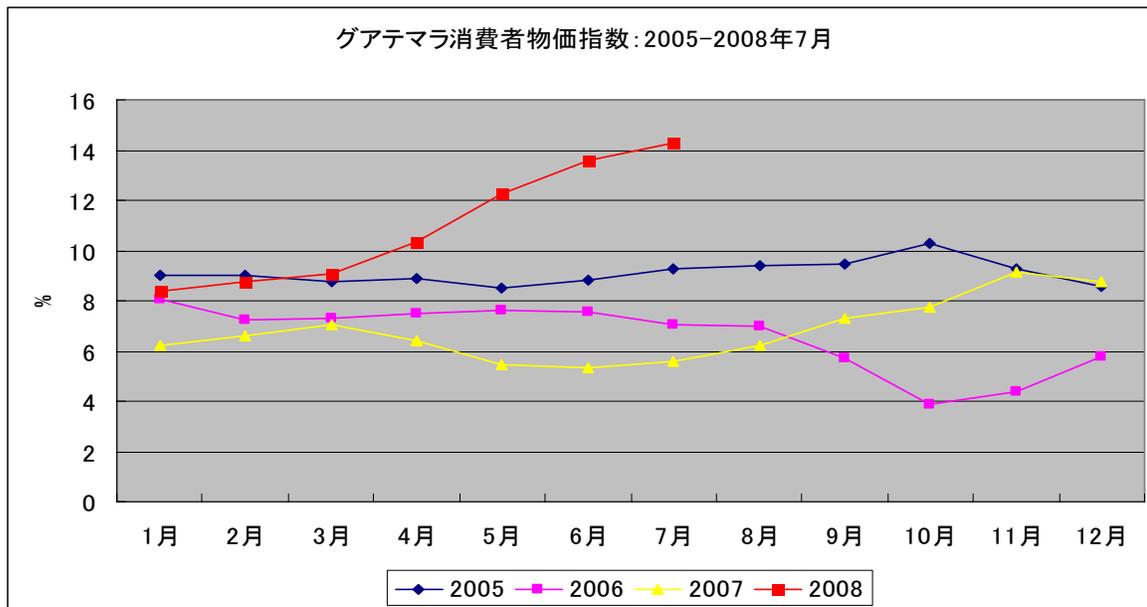
(2) 消費者物価指数(国立統計院 INE)

7月の消費者物価指数は、前月比1.25%上昇、年率では14.16%、2008年1-7月累積では8.89%の上昇を記録した。

年率の上昇値14.16%は、先月(13.56%)を上回り、1994年5月(14.14%)以来の最高値を再度更新。また、2008年1-7月の累積値8.89%は、2007年度のインフレ率(1-12月の累積)8.75%を既に超過した。

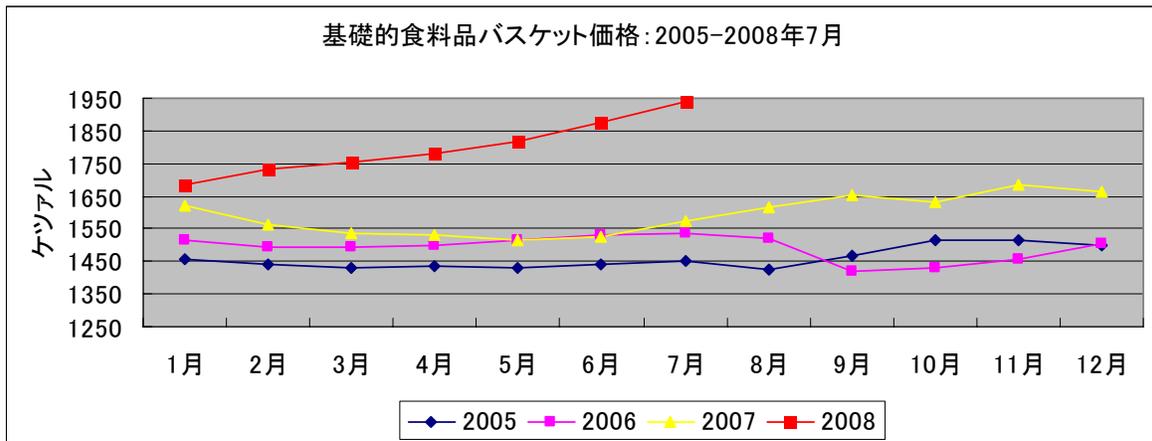
部門別では、食品・飲料(アルコールを除く)・外食部門(年率19.39%)、運輸・通信部門(22.05%)、電気代等を含む住居関連部門(14.26%)のインフレが引き続き特に顕著となり、一般市民の生活に与える影響が懸念される。

中銀は、2008年インフレ目標を $5.5 \pm 1.5\%$ (4.0-7.0%)に設定しているが、1月以降、目標値以内に納まった月はない。



部門別では、食品・飲料(アルコールを除く)・外食部門(年率18.93%)、運輸・通信部門(20.75%)、電気代等を含む住居関連部門(13.36%)のインフレが引き続き特に顕著となった。

基礎的食料品バスケット(Canasta Basica de Alimentos: 1世帯5.38人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料26品目)の価格は、前月比55.82ケツアル(約7.45米ドル)上昇し、1,875.43/月ケツアル(約250.39米ドル)となる。基礎的食料品バスケットの価格は、本年1月以降6ヶ月連続で過去最高値を更新しており、年率換算では17.17%の上昇となっている。



(3) 政策金利

23日、国家金融審議会(JM)は、国内のインフレ傾向に対応すべく、政策金利を6.75%から0.5%引き上げ、7.25%とした。2008年、政策金利の引き上げは2回目(3月27日以来)、引き上げ率は0.75%。

(4) 貿易統計(中銀)

6月の輸出は742.6百万米ドル(前年同月比20.1%増)、輸入は1,275.3百万米ドル(前年同月比14.0%増)。

2008年度上半期(1-6月)の輸出総額は3,996.3百万米ドル(前年同期比12.9%増)、輸入総額は7,482.1百万米ドル(前年同期比16.9%増)で、貿易収支は3,485.8百万米ドルの赤字(前年比21.9%増)。

・ 2008年度上半期(1-6月)の輸出額：品目(単位：百万米ドル)

		輸出額	占有率	前年比
1	服飾製品	679.1	17.0%	-3.6%
2	コーヒー	459.8	11.5%	22.9%
3	化学製品	406.3	10.2%	34.4%
4	果実及び加工品	241.4	6.0%	14.6%
5	加工食料品	199.1	5.0%	22.9%
6	原油	187.8	4.7%	65.4%
7	砂糖	169.7	4.2%	-35.9%
8	バナナ	151.7	3.8%	3.0%
9	鉱物	148.6	3.7%	63.9%
10	建設資材	125.1	3.1%	31.8%

・ 2008 年度上半期(1-6月)の輸出入額:国別(単位:百万米ドル)

輸出		輸出額	占有率	前年比
1	米国	1,646.3	41.2%	7.5%
2	エルサルバドル	483.4	12.1%	17.7%
3	ホンジュラス	356.5	8.9%	24.7%
4	メキシコ	251.0	6.3%	25.3%
5	ニカラグア	161.4	4.0%	26.9%
-	日本	76.3	1.9%	*123.4%

*対日輸出においてはコーヒーの輸出額の伸びが著しい。(単位:百万米ドル)

	上半期(1-6月)		通年	
	輸出総額	コーヒー	輸出総額	コーヒー
2007年	34.2	24.3	59.1	42.9
2008年	76.3	66.0	-	-

輸入		輸入額	占有率	前年比
1	米国	2,695.4	36.0%	24.1%
2	メキシコ	729.9	9.8%	29.1%
3	中国	613.4	8.2%	18.0%
4	エルサルバドル	272.1	3.6%	17.1%
5	オランダ領アンティル**	257.0	3.4%	25.0%
6	日本	245.2	3.3%	-3.6%

**キュラソー島からの石油製品の購入(ベネズエラ産)

(5) 海外送金(中銀)

7月の海外送金は、前年同月(381.2百万米ドル)に比べ28.5百万米ドル(7.5%)多い409.7百万米ドルに上った。同額は月毎の送金額として史上最高である(送金額が400百万米ドルを超えるのも史上初)。

2008年1月から7月までの送金総額は2,550.6百万米ドルで、前年同期(2,350.9百万米ドル)を、199.7百万米ドル(8.5%)上回った。

他方、7月、米国から空路で強制送還されたグアテマラ人不法移民は2,712人に上り、2008年1月から7月までの強制送還者合計は、前年同期比15.7%増の15,273人となった。

(6) 税収: 国税庁(SAT)

国税庁(SAT)によれば、7月末までの徴税額は21,655百万ケツアル(約2,870百万米ドル)に上った。7ヶ月間で2008年度税収目標(33,497百万ケツアル)の64.6%

を達成。内訳は、直接税が 29. 5% (所得税・法人税が 21. 6%)、間接税が 67. 3% (消費税が 50. 6%)、その他 3. 2%。

2. 国内経済トピックス

(1) 国内民間銀行の 2008 年度上半期業績：金融監督庁(SB)

金融監督庁(SB)は、国内金融セクター2008年度上半期報告を行った。

・ 国内銀行の保有する金融資産(2008年6月30日現在)

2008年度上半期、国内銀行の保有する金融資産は 122, 644. 3 百万ケツアル(約 16, 200 百万米ドル)。2007年度上半期と比較して 10. 87%拡大。

2008年	2007年	前年比
122,644.3	110,619.5	+10.87%

(単位:百万ケツアル)

・ 上位5行の保有する金融資産(2008年6月30日現在)

上位5行の金融資産が国内銀行の保有する金融資産総額に占める割合は 80. 1%(金融監督庁に登録されている国内民間銀行は 18 行)。

		2008年	占有率	2007年	前年比
1	Industrial	34,436.1	28.07%	29,695.8	+15.96%
2	G&T Continental	23,777.2	19.38%	18,940.2	+25.54%
3	Banrural	21,797.7	17.77%	18,218.1	+19.65%
4	Citibank*	9,320.6	7.60%	-	-
5	Agromercantil	8,913.5	7.27%	7,888.8	+12.99%

*Citibank(2008年)は Uno 銀行及び Cuscatlan 銀行を含む (単位:百万ケツアル)

・ 国内銀行の純益(2008年度上半期)

2008年度上半期、国内銀行の純益は 1, 381. 3 百万ケツアル(約 183 百万米ドル)。2007年度上半期と比較して 30. 85%拡大。

2008年	2007年	前年比
1,381.3	1,055.6	+30.85%

(単位:百万ケツアル)

・ 上位5行の純益(2008年度上半期)

上位5行(純益で評価)の純益が国内銀行の純益の総額に占める割合は 84. 3%。

		2008年	占有率	2007年	前年比

1	Banrural	387.6	28.06%	297.8	+30.15%
2	Industrial	375.1	27.16%	266.9	+40.54%
3	G&T Continental	164.4	11.90%	104.6	+57.17%
4	Citibank*	129.5	9.38%	-	-
5	Agromercantil	107.4	7.78%	79.2	+35.56%

*Citibank(2008年)はUno銀行及びCuscatlan銀行を含む(単位:百万ケツアル)

(2) 多雨による農作物被害:農牧食糧省(MAGA)

農牧食糧省(MAGA)は、断続的豪雨のため非常災害宣言の発出された地方自治体(8県24市)を中心に、農作物の被害状況を発表した。

・ 農作物被害状況

県名	農作物	被災農家	被害額
サカパ県	白トウモロコシ、黒フリホール豆、 コーヒー	4,249世帯	23.1百万ケツアル (約3.06百万米ドル)
ペテン県	白トウモロコシ、黒フリホール豆	227世帯	9.2百万ケツアル (約1.21百万米ドル)
キチェ県	白トウモロコシ	500世帯	9.0百万ケツアル (約1.19百万米ドル)
イサバル県	トウモロコシ、オクラ等	不明	6.0百万ケツアル (約0.79百万米ドル)
アルタベラパス県	白トウモロコシ等	174世帯	2.5百万ケツアル (約0.33百万米ドル)
ウエウエテナンゴ県	黄トウモロコシ、ジャガイモ等	583世帯	1.9百万ケツアル (約0.25百万米ドル)

・ 被害内訳

農作物内訳	被害総額
白トウモロコシ	26.0百万ケツアル(約3.44百万米ドル)
黄トウモロコシ他	5.5百万ケツアル(約0.73百万米ドル)
コーヒー	10.0百万ケツアル(約1.32百万米ドル)
黒フリホール豆	7.7百万ケツアル(約1.02百万米ドル)
ジャガイモ	1.5百万ケツアル(約0.20百万米ドル)

(3) 創業128年 Cantel 社輸出部門の廃業(7月15日)

19世紀後半に、グアテマラで初めて機械制工業を導入した最古の企業の1つである Cantel 社

(ケツアルテナンゴ県、1880 年創業、繊維)が、業績不振のため、輸出部門を廃業することを決定した。Cantel は、Cervecería Centroamericana(グアテマラ県、1886 年創業、酒類製造業(ビール))とともに、国内でも最も歴史のある老舗企業であり、操業開始以降 20 世紀半ばにかけて、グアテマラ産業を牽引し、その発展に貢献してきた。

廃業が決定した Cantel 社の輸出部門は、製糸・紡績、織物、縫製(米国ファーストフード・チェーンのユニフォーム、ポロシャツなど)等を行ってきたが、昨今は、エネルギー等の製造コストの上昇により、国際的な競争力の低下が顕著となっていた。Cantel 社の輸出部門の廃業により、1,500 人以上が失業することとなるが、同社と繁栄の軌跡を共にしてきたケツアルテナンゴ県 Cantel 市には、同社に五世代続けて勤めた世帯もあるなど、地域社会に与える広範な影響が懸念される。

なお、Cantel 社の輸出部門は廃業となるものの、国内向けの生産(タオル類、ユニフォーム等)については、継続される見込み。

(4) 石油製品の密輸

石油製品の国内小売価格の上昇が続く中、メキシコと国境を接するサンマルコス県、ウエウエテナンゴ県、ペテン県等においては、メキシコからの燃料(ガソリン、ディーゼル等)密輸が増大している。グアテマラ石油製品小売業者組合(AGEC)によれば、メキシコからの密輸の横行により、地元のガソリンスタンドの売り上げの低迷は著しく、廃業に至ったケースも数えられている。補助金政策のとられているメキシコにおいては、ガソリンとディーゼルが、共に、グアテマラ国内の小売価格の半額程度で購入できる。

他方、LP ガスについては、エルサルバドルからグアテマラへの密輸が増大しており、取締が急務となっている。グアテマラ国内では、2008 年 1 月から 7 月までの間に、LP ガスの小売価格が約 10% 値上がりをしたが、エルサルバドルにおいては、LP ガスに補助金政策が適用されていることから、小売価格がグアテマラの 1/3 程度に抑えられている。

<石油製品価格各国比較:エネルギー鉱山省>

(2008 年 7 月末実勢小売価格、1 ガロン当たりドル換算)

	グアテマラ	エルサルバドル	ホンジュラス	ニカラグア	コスタリカ	メキシコ
ハイオク	4.80	4.76	4.76	4.95	5.21	3.44
レギュラー	4.70	4.55	4.27	4.79	5.12	2.76
ディーゼル	4.90	5.00	4.82	5.06	5.16	2.37
LP ガス	3.01	2.56(-1.676*)	1.77	2.54(+税)	3.81	1.83

*補助金の平均額

3. 対外経済トピックス

(1) ペトロカリブ協定への署名(7月13日)

13日、コロン大統領は、ベネズエラで開催された第5回ペトロカリブ協定加盟国臨時首脳会合に出席し、同協定への署名を行った。グアテマラは、ベネズエラ石油公社(PDVSA)から、ディーゼル燃料とバンカー(合わせて 20,000 バレル/日)を有利な支払い条件で購入することが可能となり、両首脳は、購入額の40%を石油製品受領後90日以内に支払い、残り60%を延べ払い(支払期間:25年、うち支払い猶予期間:2年間、利子率:1%)とすることで合意した。

グアテマラは、購入額の延べ払いにより、毎月500百万ケツアル相当(約66百万米ドル)の資金繰りが可能となることから、コロン大統領は、右資金を社会的プロジェクトに投資する意向を示しているが、同協定の発効にはグアテマラの国会の承認を得る必要がある。

承認案の国会提出が待たれる中、経団連(CACIF)及び農業会議所は、当地主要紙にそれぞれ意見広告を掲載し、政府に慎重な検討を求める立場(CACIF)及びペトロカリブ協定加盟に反対の立場(農業会議所)を表明した。

経団連(CACIF)は1957年に発足。工業、農業、金融、建設、観光、サービスの各会議所と、非伝統産品輸出業者協会(AGEXPORT)及び砂糖産業協会(ASAZGUA)の計7団体により構成され、傘下に120の組合と60千人の企業関係者を擁している(グアテマラで最大規模)。農業会議所は経団連(CACIF)の傘下にあるが、ペトロカリブ協定加盟に関する意見広告では、経団連よりも一歩踏み込んだ内容(明確な反意表明)となった。

(2) 食料品5品目の無関税輸入枠及び化学肥料の無関税輸入措置の獲得(6月26日)

6月26日、中米経済大臣会合(COMIECO)において、グアテマラの食料品5品目の無関税輸入枠の拡大と、化学肥料の無関税輸入(エルサルバドルにも適用)が承認されたことが、7月3日明らかになった。

コロン大統領は国内の物価上昇に対処すべく、鶏肉、粉ミルク、黄色トウモロコシ、コメ(二級)、小麦粉、トウモロコシ粉、鶏卵、食用油、肥料、その他の殺虫剤等の農業投入財の合計10品目について、関税撤廃等の特別措置の検討を要請する意向を発表していたが、上記10品目のうち、鶏肉、粉ミルク、黄色トウモロコシ、コメ(二級)、小麦粉については無関税枠の拡大が、肥料については関税撤廃措置が獲得された。

食料品5品目の無関税輸入枠については、期限は2008年12月31日まで。化学肥料の無関税輸入については、量的制限無し、期限は6ヶ月間とされた。

	無関税輸入枠	通常関税
鶏肉(胸肉を除く)	7,000トン	15.0%

粉ミルク(脱脂粉乳)	1, 500 トン	15. 0%
黄トウモロコシ	88, 000 トン	15. 0%
コメ(二級)	14, 000 トン	23. 7%
小麦粉	10, 000 トン	10. 0%

注： 2 月、グアテマラは 10, 000 トンの小麦粉の無関税輸入枠を獲得している(2008 年度は合計 20, 000 トン)。